



平成22年度 画像保存セミナー

日本写真学会の画像保存研究会は、次世代に伝えるべき記録と価値ある写真画像、またその他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立を目的としております。その主旨に則し、広く情報を発信する場として、1984年より画像保存セミナーを開催し、本年度で27回目を迎えます。

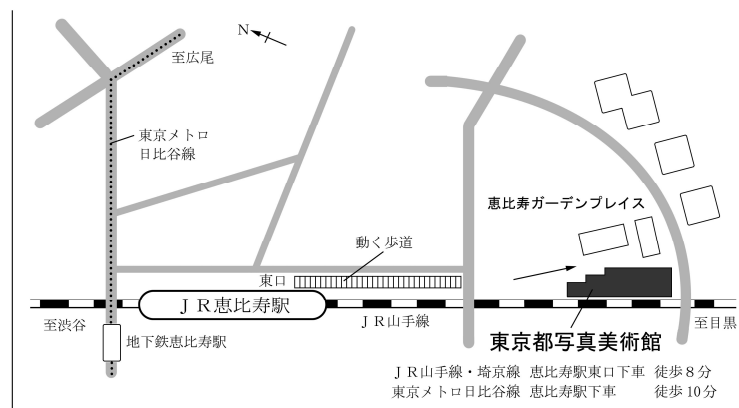
近年、写真産業界では、銀塩写真関連の規模の縮小が急速に進み、その一方でデジタル化の波が加速してまいりました。この変革に伴い、ここ数年、デジタルあるいはアナログによる画像保存に関し、それぞれの利点、生じている問題点や課題について、活発な議論がなされてまいりました。画像保存を取り巻く話題や関心は、従来の銀塩写真のみならず、歴史的な写真画像の保存から最新の画像記録メディアの品質や長期保存性など多岐に渡ると考えます。

今回は、画像保存のための生物学知識、写真の保存と修復の活動、デジタル情報の長期保存コスト、デジタルデータのフィルム保存、映画フィルム復元およびデジタル復元における三色分解を用いた長期保存等、幅広い内容で構成いたしました。

本年も東京都写真美術館ホールにて開催致します。また、例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂けますよう、懇親会を設けております。画像保存に関心のある方、関連分野の多くの方々のご参加を頂けますよう、ご案内申し上げます。

日時：平成22年11月5日（金）
9時50分～17時（9時30分 受付開始）

場所：東京都写真美術館ホール
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内



主催 社団法人 日本写真学会
協賛 日本写真芸術学会
一般社団法人 文化財保存修復学会
財団法人 日本博物館協会
東京都写真美術館

セミナープログラム

9:30 受付開始 (9:30 までは建物内にお入りになれません)

9:50 開会挨拶 セミナー実行委員長

10:00 講演 1. Contributions of biological knowledge to protecting images in storage and treatment.

|

(日本語通訳付)

11:30 カナダ文化財保存研究所 保存科学上席研究員 トム・ストラング

To preserve images we limit loss to harms caused by organisms through the general protocol of keeping objects dry, cool, and contained. This raises questions to balance efforts: to what degree is necessary? This talk will discuss how biological knowledge assists with this protocol for protecting from harm by organisms.

— 昼食休憩 (60 分) —

12:30 講演 2. ヒューストン美術館における写真の保存と修復の活動

|

ヒューストン美術館 写真コンサヴァター 小関俊旭

13:30 ヒューストン美術館写真保存修復ラボは 2005 年より写真保存修復データベース (Photography Conservation Database) の開発と改良を行っている。現在、保存活動に従事するスタッフにとって最も重要なツールとなったデータベースの内容、および同美術館における修復プロジェクトの事例を紹介する。

13:30 講演 3. デジタル情報の長期保存コストに関する研究動向

|

国立国会図書館関西館電子図書館課 村上浩介

14:30 デジタル情報が爆発的に増大し、その作成・再生環境の進歩も著しい現在、情報を長期的に保存し、利用可能としていくことの困難さが課題として認識され始めている。この課題へのアプローチの 1 つとして、コスト試算に関する研究の動向を紹介する。

— 休憩 (15 分) —

14:45 講演 4. 最新のデジタルレコーディング用フィルムとデジタルデータのフィルム保存への動き

|

富士フィルム株式会社イメージング材料生産部 大関勝久

15:45 デジタルデータの長期保存が危惧される中で、ソリューションとして銀塩フィルムへの保存が提案されており、ハリウッドでは映画を B、G、R の 3 色にデジタル分解して銀画像として保存している。本講演ではデジタルレコーディング用銀塩フィルムの性能を紹介するとともに、欧州で進められているバイナリデータのフィルム保存の動きについても紹介する。

15:45 講演 5. 映画フィルム復元の方法論と、デジタル復元における三色分解を用いた映像の長期保存

|

— 映画『銀輪』(松本俊夫、1955) の場合

16:45 東京国立近代美術館フィルムセンター 研究員 板倉史明

株式会社 IMAGICA 映画本部デジタルプロセス部 三浦和己

実験映像のパイオニアとして知られる松本俊夫監督の初期代表作『銀輪』(1955 年)のデジタル復元にあたり、長期保存性に優れた白黒インターメディアイトフィルムへの三色分解を実施した。今回は、その復元内容を紹介するとともに、映画フィルムと写真フィルムに共通する保存や復元の方法論や倫理的な問題について検討する。

16:45 閉会挨拶 日本写真学会副会長

- *各講演時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。
- *閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会（下記参照）を行います。奮ってご参加ください。

参加申し込みについて

セミナー参加費（講演要旨集代金を含みます）

日本写真学会および協賛学協会々員	……………	6,000 円
非会員	……………	8,000 円
学 生	……………	2,000 円

（日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。）

定 員 180 名（定員になり次第締切りますのでお早めにお申し込み下さい）

懇親会 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の通信欄にその旨ご記入下さい。

時間：当日 17 時 30 分より

場所：恵比寿ガーデンプレイスタワー3階 カフェテリア・エスパシオ

会費：3,000 円

申込締切 平成 22 年 10 月 25 日（月）

申込方法 郵便局備え付けの振替用紙をご利用になり、通信欄に「画像保存セミナー」とお書きのうえ、参加費区分（会員／非会員／学生）、勤務先、所属学協会名、懇親会参加の有無をお書き添え下さい。ご入金を確認し、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

写真学会、協賛学協会等から配布するパンフレットに添付の振替用紙もご利用になれます。日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> からも参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。

なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、参加のご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

送り先 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 東京工芸大学内
(社) 日本写真学会 Tel. 03-3373-0724
郵便振替口座番号：00130-6-72818 Fax. 03-3299-5887

日本写真学会にご入会下さい

この機会に、会員でない皆様には当学会に入会されることをおすすめします。
セミナー当日、受付に入会申込書がありますので、ご記入の上お申し込み下さい。

年会費： 正会員 8,500 円 学生 3,000 円

社団法人 日本写真学会 事務局
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
東京工芸大学内
Tel. 03-3373-0724 Fax. 03-3299-5887
URL <http://www.spstj.org>

このセミナーは、下記の組織で企画されました。

社団法人 日本写真学会

会 長：高田俊二 副会長：久下謙一 山岸 治

画像保存セミナー実行委員会

委員長：山口孝子（東京都写真美術館）

委 員：上田耕一郎（東京工芸大学）

大西弘幸（セイコーエプソン）

河野純一（コニカミノルタテクノロジーセンター）

杉本和俊（コダック）

原 正人（日本大学）

大関勝久（富士フイルム）

大林賢太郎（京都造形芸術大学）

小林裕幸（千葉大学）

高橋則英（日本大学）

吉田 成（東京工芸大学）